

論文番号 113

担当

独立行政法人 酒類総合研究所

題名 (原題/訳)

Nonalcoholic components in wine reduce low density lipoprotein cholesterol in normocholesterolemic rats

ワイン中の非アルコール性成分は正常コレステロールラットにおける LDL リポプロテインコレステロールを減少させる

執筆者

Cascon, E., Roig, R., Ardevol, A., Salvado, M. J., Arola, L., Blade, C.

掲載誌 (番号又は発行年月日)

Lipids 36 (4)383-8 (2001)

キーワード

ワイン、コレステロール、エタノール、ラット

要旨

ワイン中に存在する非アルコール性成分の効果とアルコールの効果を区別することができる実験モデルを用いて、ワインがコレステロールの代謝においてアルコールそのものよりも別の効果を有しているか否かを調べた。雄ラットに標準食を与え、水そして、ワイン又は等量のアルコール溶液を45日または6ヶ月間自由に摂取させた。アルコールの摂取量は二つのグループの間で差は観察されなかった。アルコール溶液またはワインの消費は血漿中のコレステロールやHDLに影響しなかった。45日でワインとアルコール溶液両方の消費はLDLコレステロールやVLDLコレステロールを減少させた。6ヶ月でワインを摂取したラットだけがLDLコレステロールを減少させた。45日間のアルコール摂取後、大動脈の全コレステロール量は遊離のコレステロールが上昇したことに伴い増加した。大動脈中でワイン消費の効果はアルコール溶液消費の効果と類似していた。この結果から、ワイン中の非アルコール性成分を長期間摂取することにより、動脈中のコレステロールは変化しないが、LDLコレステロールを減少させることがあきらかとなった。